

平成 26 年 10 月 10 日
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

シニアと言えば、何歳ですか？ 自己認識と他者認識のギャップあり ～ 『R&D シニア基礎研究レポート』より ～

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:五十嵐幹)は、生活者総合ライフスタイル調査『CORE』やシニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』などの独自データに加え、国や組織が公開する既存データを盛り込んだ、現在のシニア像を理解するための『R&D 基礎研究レポート』を発行いたしました。

そのレポートから一部結果をご紹介します。

この調査結果のレポート(『R&Dシニア基礎研究レポート』)は10月1日より標準価格300,000円にて販売しております。詳細につきましては弊社HP <http://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

シニア層の多くは「歳より若々しい」と自覚。

- 60歳以上の女性の多くは「歳より若く見られている」と思っています。しかも、その意識は年齢があがるにつれて強くなっています。

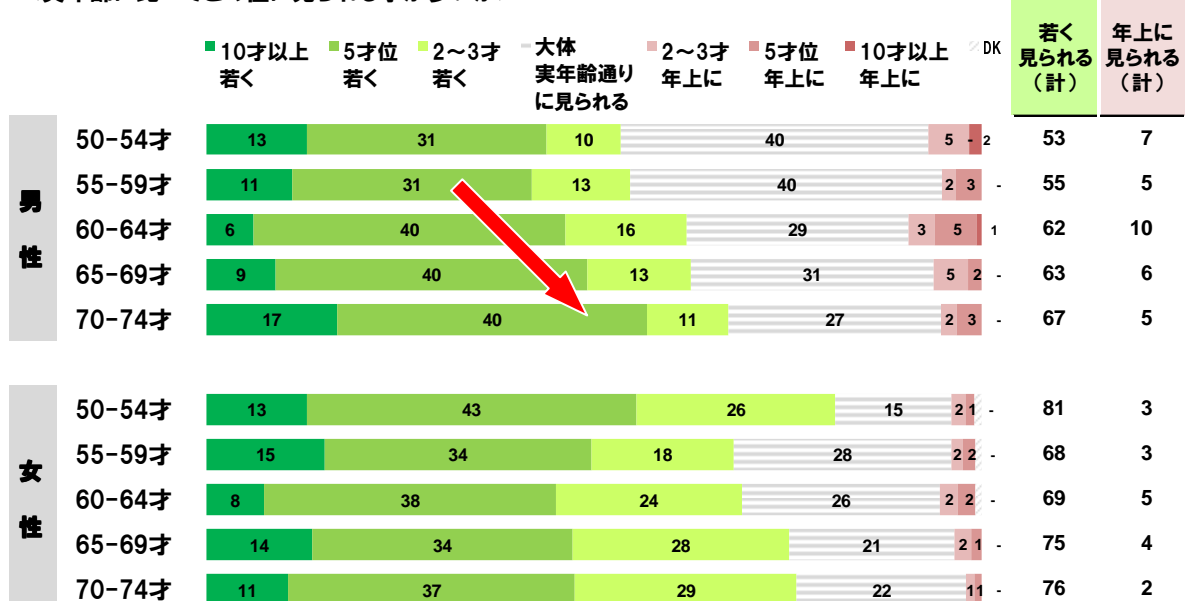
- 60歳前後の女性では約70%、70歳前後の女性では約75%が「歳より若く見られている」と回答しています。

- 一方、男性は年を経るごとに、若々しさを自覚していきます。70歳を超えると「10歳以上若くみられる」という回答がグンと伸びています。

- 男性の50代では55%程度が「歳より若くみられている」と回答しますが、60代では6割を超えます。

<実年齢に比べてどの位に見られる事が多いか>

※『CORE2013(2012.10)』より (%)



自他ともに「シニア」を認めるのは70代から。

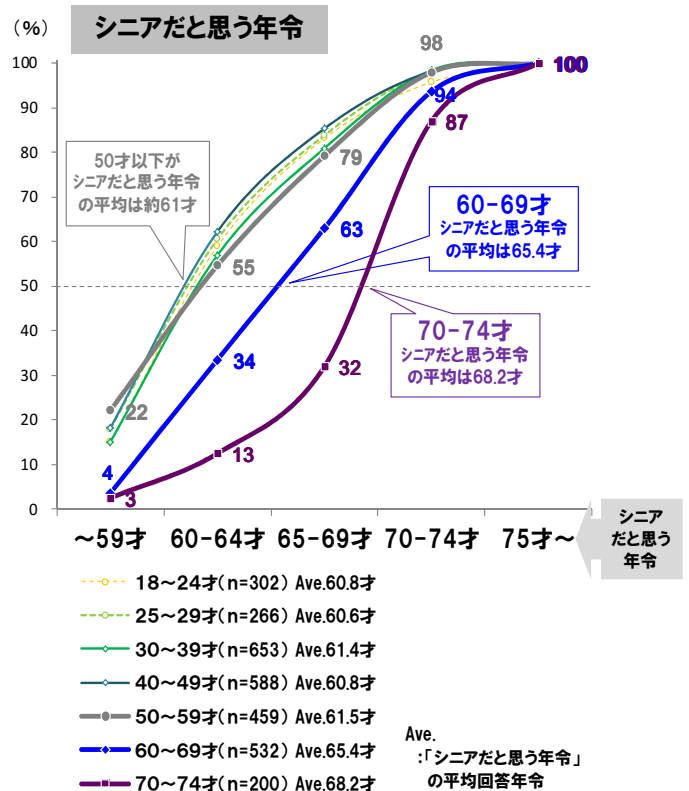
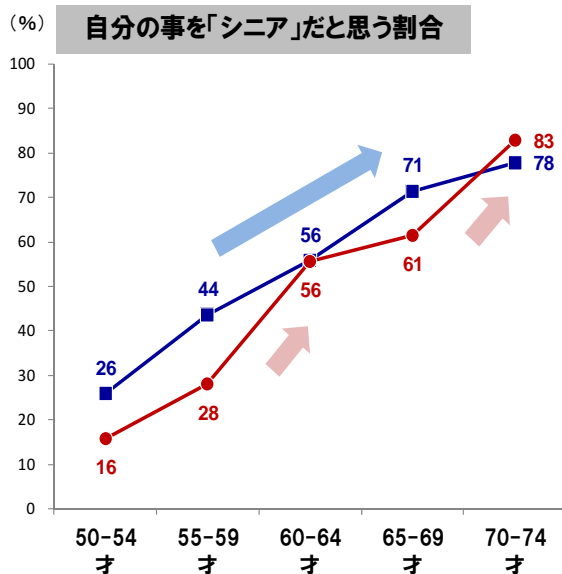
■ 女性は60代、70代に入るときにシニアの自覚がぐっと高まります。

- 自分のことを「シニア」だと思うのは、女性では50代後半(28%)から60代前半(56%)で28pt、次いで、60代後半(61%)から70代前半(83%)で21ptと、年代の切り替わりの時期にシニアの自覚が強まるのがわかりました。
- 女性に比べると、男性は年々順調にシニアと自覚していく様子がみえています。

■ シニアにとって《60代》は微妙なお年頃。若い年代からはシニア扱い、70代からは若造扱い。

- 60歳未満が「シニア」だと思う年齢は平均60歳となり、「シニア」以前の若い年代では「60歳になるとシニアだなあ」と思っているといえます。
- ところが、実際に60歳になってみると「シニアだと思う年齢」は平均65歳とあがっており、さらに70歳を超えると「シニアだと思う年齢」は平均68歳となります。

< シニア意識 >



※「CORE2013 (2012.10)」より

R&D 発 シニアインサイト

◇65才は年齢としては「シニア」、でも65才の自分は「年齢より5才以上若く見える(シニアには見えないはず)」…シニアゴコロは微妙です。「シニア向け」と決め付けるアプローチが上手いかわからないのはこのあたりに要因があるのかもしれませんが。年相応、という固定概念にとらわれず、「見た目-5才」のシニアを送っている「-5才生活」を知り、アプローチを考えることが必要ではないでしょうか。

■生活者総合ライフスタイル調査システム『CORE』■

- 調査エリア 首都圏 40km圏
- 調査手法 訪問留置調査(一部郵送調査併用)
- 調査対象 18～79 歳男女個人
- サンプル設計 3000 サンプル(回収ベース)
- 調査時期 毎年1回 10月実施

※『CORE』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■シニアのリアル・コミュニティ『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』■

- 調査手法 オフライン・コミュニティ
- 調査対象 65～76 歳男女個人
- サンプル設計 コミュニティ・メンバー数 女性15名/男性8名
- 開催時期 1回 2時間 毎月2回 (見学無料、事前予約制)

※『iDOBATA KAIGI』『iDOBATA-Z』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-2 0-2
代表者： 代表取締役社長 五十嵐 幹
資本金： 30,000千円
設立： 1968年1月17日
URL： <http://www.rad.co.jp>
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 坂根
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp

■調査内容に関するお問い合わせ先■

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント マーケティングソリューション部 高田
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp